

# 副産物情勢

11月14日 更新

J A 全農ミートフーズ株式会社

項目	内容	備考																																										
内臓	<p>1.国産牛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 9月の成牛と畜頭数は、90.1千頭(前年比100.3%)と前年並みとなった。 内訳を見ると、和牛:43.8千頭(前年比108.5%)、交雑牛:20.2千頭(同94.7%)、乳牛去勢:10.5千頭(同98.4%)となった。</li> <li>○ 10月の成牛と畜頭数は、速報値(10月31日まで集計)で97.9千頭(前年比102.0%)と前年を上回る見込みとなった。</li> <li>○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(10月29日公表)によると、10月は和牛及び乳用種の減少が見込まれるが、交雑種の増加が見込まれることから前年を上回ると予測し、11月は、交雑種の増加が見込まれるものの、和牛、乳用種の減少が見込まれることから、前年並みと予測する。(10月 97.9千頭(前年比101.4%)、11月 108.7千頭(同99.4%)) そのため、3か月平均(9月～11月)では、出荷頭数98.3千頭(前年比99.5%)、生産量31.3千ト(同100.3%)と前年並みの予測となっている。</li> <li>○ 需 給 動 向 : 赤物は通年商材に関しては荷動き堅調。タン・ハラミ・ホホ・ハツ等の引き合いが継続しており、在庫がひっ迫している。レバーは低価格帯では動くものの、依然在庫は重たい状況。 白物は冷凍小腸が少しずつ流通し始めてきているが、滞留在庫の解消には至っていない。今後については気温が下がってきたため、鍋物需要での引き合い増が期待される。</li> </ul>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年4月 1日</td> <td>35</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月 26日</td> <td>25</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月 18日</td> <td>35</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>令和4年2月7日</td> <td>25</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>令和4年4月4日</td> <td>35</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>令和4年8月8日</td> <td>45</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※乳牛も同様45円/kg *豚正貫物</p> <p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年3月 11日</td> <td>35</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月19日</td> <td>25</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月 15日</td> <td>35</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和4年2月1日</td> <td>25</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和4年3月28日</td> <td>35</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和4年8月1日</td> <td>45</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月 1日	35	7	令和3年4月 26日	25	5	令和3年10月 18日	35	7	令和4年2月7日	25	5	令和4年4月4日	35	7	令和4年8月8日	45	9	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年3月 11日	35	4	令和3年4月19日	25	3	令和3年10月 15日	35	4	令和4年2月1日	25	4	令和4年3月28日	35	4	令和4年8月1日	45	5
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																																									
	令和3年4月 1日	35	7																																									
令和3年4月 26日	25	5																																										
令和3年10月 18日	35	7																																										
令和4年2月7日	25	5																																										
令和4年4月4日	35	7																																										
令和4年8月8日	45	9																																										
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																																										
令和3年3月 11日	35	4																																										
令和3年4月19日	25	3																																										
令和3年10月 15日	35	4																																										
令和4年2月1日	25	4																																										
令和4年3月28日	35	4																																										
令和4年8月1日	45	5																																										
<p>2.国産豚</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 9月の全国豚と畜頭数は、1,278千頭と前年を下回った。(前年比98.8%) 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道103.5%、東北94.2%、関東100.4%、北陸甲信越94.9%、東海99.5%、近畿102.4%、中四国100.6%、九州・沖縄98.6%</li> <li>○ 10月の全国と畜頭数は、1,454千頭(速報値10月31日まで集計、前年比101.2%)と前年を上回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年より1日多く、1日当たりの平均と畜頭数は66,109頭(前年実績:68,435頭/日、前年差▲2,326頭/日)となった。</li> <li>○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;10月22日付け)によると、11月;1,468千頭(前年比99%)、12月;1,480千頭(同101%)、令和7年1月;1,413千頭(同100%)、令和7年2月;1,433千頭(同98%)、3月;1,459千頭(同106%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約101%と前年並みの見込み。</li> <li>○ 需 給 動 向 : 気温が下がり出荷頭数が回復基調にあるため、今後の生産量は堅調な推移を見込む。赤物は、需要部位については引き続き堅調推移であるものの、豚レバーについては凍結在庫が積み上がっている。白物は、小腸ボイルの一部地域における価格低下傾向はやや解消され、市中在庫についても月末にかけ少しずつ動きが出てきた。 今年は暖冬にならないとの見方が強いことから、今後については荷動きが堅調になると予想する。</li> </ul>																																												
<p>3.輸入牛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 9月の輸入通関実績は、全体で38.2千トと前年を上回った(前年比103.1%、前月比78.1%)。 内訳ではチルド:15.4千ト(前年比100.4%、前月比96.3%)、フローズン:22.8千ト(前年比104.9%、前月比69.2%)となった。 輸入相手国別では、チルドは豪州、カナダ、メキシコが増加し、フローズンは、豪州、米国が増加した。</li> <li>○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドは、10月は輸入量のほとんどを占める米国産や豪州産の輸入量減少が見込まれること等から下回ると予測し、11月は米国産の輸入量減少が見込まれるものの、前年同月が少なかったことから、上回ると予測する。フローズンは、10月は現地相場高の影響により、米国産輸入量の減少が見込まれること等から、下回ると予測し、11月は輸入品在庫量が多かったことにより、前年同月の輸入量が少なかったため、上回ると予測している。3か月平均では、チルドは下回り、フローズンは上回ると見込んでいる。 令和6年10月 合計:37.9千ト(前年比94.0%)、チルド:14.9千ト(同88.9%)、フローズン:23.0千ト(同97.7%) 令和6年11月 合計:37.1千ト(前年比111.0%)、チルド:14.5千ト(同100.4%)、フローズン:22.6千ト(同119.3%)</li> <li>○ 輸入牛内臓実績(令和6年9月):牛腸(冷凍);1,229.3ト(前年比128.5%・前月比76.8%) 国別実績;米国998.4ト、豪州127.7ト、メキシコ97.8ト、スペイン5.3ト 牛レバー(冷凍);87.6ト(前年比105.8%・前月比54.6%) 国別実績;米国64.0ト、豪州21.0ト、メキシコ2.5ト</li> </ul>	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年7月22日</td> <td>700</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>500</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月15日</td> <td>100</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月20日</td> <td>100</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和3年5月24日</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和5年10月16日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	令和元年7月22日	700	10	令和2年3月16日	500	10	令和2年6月15日	100	10	令和2年7月20日	100	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年5月24日	10	10	令和5年10月16日	10	2																			
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																																										
令和元年7月22日	700	10																																										
令和2年3月16日	500	10																																										
令和2年6月15日	100	10																																										
令和2年7月20日	100	2																																										
令和2年9月28日	10	2																																										
令和3年5月24日	10	10																																										
令和5年10月16日	10	2																																										
原皮	<p>1.牛原皮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 輸 出 実 績 ( 令 和 6 年 9 月 ) : 36,345枚(前年比86.8%、前月比92.9%) 国別実績;タイ30,820枚(前年比101.9%)、韓国5,525枚(同113.4%) 輸出平均価格(令和6年9月):2,611円/枚(前年差+402円、前月差△179円)</li> <li>○ 輸 入 実 績 ( 令 和 6 年 9 月 ) : 牛大判皮24,695枚(前年比144.1%、前月比152.5%)、ウェットブルー25,761枚※(同226.4%、同173.3%) ※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和6年9月):牛大判皮7,365円/枚(前年差△738円、前月差+241円)、ウェットブルー9,121円/枚(同+1,368円、同△2,047円)</li> <li>○ 海 外 情 勢 : 米国産の輸出実績は前年と比較して数量・価格ともに下落している。日本も主要輸出先であるタイの輸出枚数が減少しており、多くのタンナーが生産調整を余儀なくされている。</li> <li>○ 国 内 情 勢 : 皮革製品需要の減少やタンナーの人手不足等により国内産皮革の流通量が落ち込んでいる。皮革製品の需要喚起が必要である。</li> </ul>	<p>4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和又キ)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年8月15日</td> <td>1,000</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>800</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月22日</td> <td>300</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月27日</td> <td>300</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和3年6月1日</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和5年10月23日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和又キ)	豚原皮	令和元年8月15日	1,000	10	令和2年3月16日	800	10	令和2年6月22日	300	10	令和2年7月27日	300	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年6月1日	10	10	令和5年10月23日	10	2																		
	価格改定年月日	牛原皮(和又キ)	豚原皮																																									
令和元年8月15日	1,000	10																																										
令和2年3月16日	800	10																																										
令和2年6月22日	300	10																																										
令和2年7月27日	300	2																																										
令和2年9月28日	10	2																																										
令和3年6月1日	10	10																																										
令和5年10月23日	10	2																																										
<p>2.豚原皮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 輸 出 実 績 ( 令 和 6 年 9 月 ) : 898,276枚(前年比85.3%、前月比90.8%) 国別実績;タイ761,476枚(前年比90.5%)、カンボジア102,100枚(同65.8%)、韓国20,700枚(同98.5%)、ベトナム14,000枚(同49.8%) 輸出平均価格(令和6年9月):376円/枚(前年差+49円、前月差△62円)</li> <li>○ 需 給 動 向 : 春頃より需要回復への期待感から価格は上昇傾向にあったが、実際の需要が伴わず8月から下がり始め、9月はさらに大きく下落することとなった。 価格低迷により、安価であったB級品の優位性が失われ、販売状況は厳しくなっている。</li> </ul>																																												
レンジング	<p>1.油脂等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国産食用加工油脂向け価格(11月渡し):牛脂145円/kg(前年差±0円、前月差±0円)、豚脂145円/kg(同△10円、同±0円) 牛脂は、ファストフードチェーンのフライドポテト需要が依然として伸長していないものの、年末に向けカレーの需要増が見込まれることから荷動きは良化傾向。 豚脂は、純製ラードから調製ラード・植物油へ移行した需要が完全には戻らない等、消費量が減少していることから需給は緩和している。</li> <li>○ マレーシア産パーム油相場(10月):206円/kg(前年差+58円、前月差+26円) 9月生産量は182万トン(前月比96.2%)、輸出量は154万トン(同100.9%)、月末在庫は201万トン(同106.9%)となった。 中東情勢の緊迫化が進行していることに加え、バイオ燃料の需要が依然堅調であることから、今後も底堅い相場推移を見込む。</li> <li>○ 関 東 飼 料 用 油 脂 ( 10 月 ) : 114円/kg(前年差△10円、前月差±0円)</li> <li>○ 工 業 用 油 脂 ( 10 月 ) : 95円/kg(前年差±0円、前月差±0円)</li> <li>○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(10月):123円～126円/kg程度(前年差±0円、前月差±0円)</li> </ul>	<p>5.食用加工油脂価格 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年4月1日</td> <td>175</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>令和4年7月1日</td> <td>195</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>令和5年1月1日</td> <td>175</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>令和5年4月1日</td> <td>165</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>令和5年7月1日</td> <td>155</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td>令和5年10月1日</td> <td>145</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>令和6年7月1日</td> <td>145</td> <td>145</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和4年4月1日	175	170	令和4年7月1日	195	190	令和5年1月1日	175	175	令和5年4月1日	165	175	令和5年7月1日	155	165	令和5年10月1日	145	155	令和6年7月1日	145	145																		
価格改定年月日	牛脂	豚脂																																										
令和4年4月1日	175	170																																										
令和4年7月1日	195	190																																										
令和5年1月1日	175	175																																										
令和5年4月1日	165	175																																										
令和5年7月1日	155	165																																										
令和5年10月1日	145	155																																										
令和6年7月1日	145	145																																										